

媚びない政治、
ブレない政治、
おごらない政治



千葉維新会・田沼隆志（千葉市議会であだ一人の保守系無所属） 議会報告

●民間経営の視点で改革徹底を提案！

3月議会で私は、元経営コンサルタントとして多くの企業・官公庁改革に携わってきた経験から、民間経営の視点での改革を提案・質問しました。

こんな提案をしました！

こんな答弁でした

↑市長の姿勢

「脱・財政危機宣言」を出したのに、今回の予算でも依然として多くの借金をしているのは約束違反では？ そのことに対する市民への納得のいく説明なり謝罪はないのか？

これまで以上に踏み込んだ歳出のカットを行ったが、収支不足が解消できず、やむを得なかった。お詫びする必要はない。
（田沼：納得できません！）

「行政改革推進プラン」では、決意を込めて数値目標を掲げるべきでは？ そして約束厳守を何よりも優先すると共に、結果に対して言い訳しない・責任をとるといふ姿勢が必要では？

今後策定する実施計画において、目標値を示す。また、それに対して各局が責任を持って達成に向け、努力をする。
（田沼：明確な目標設定が最も重要です）

民間改革では、トップ直属で部門横断の特命チームを作る。行財政改革の断行に必要では？

各局が主体的に考え実施することが重要なので、設置は考えていない。
（田沼：責任が明確にならないのでは？）

↑行財政改革

経営改革には、まず徹底したムダの排除とスリム化が必須。職員数削減は、現行の年1%程のスピードでなく、杉並区※のように、もっと大胆に進めるべきでは？※10年間で2割の1000人削減

市民ニーズに対応しつつ、更なる事業見直しや、民間機能の活用等に努める。
（田沼：つまりは、やらないようです…）

職員の給与ダウンは、改革の最後の手段。職員のモチベーション低下を危惧している。対応策は？

今後、維持・向上に最大限、意を用いる。
（田沼：極めて曖昧な答弁…不安です）

減給について職員の理解を得るために、リーダーである市長自身は何をしたか？

職員団体へ文章で申し入れを行った。
（田沼：それだけ？大丈夫でしょうか…）

突然の行政事務委託費削減に多くの自治会から反発があるが、当然だ。発信下手。改革には、納得が得られる、丁寧・誠実な情報発信が必要では？

具体的な内容は、文書で知らせる。また、可能な限り説明の機会を設ける。
（田沼：真意が伝わるか…心配です）

↑経済政策

市の増収策は管轄がバラバラ。目標値や計画もない。目標値、計画、組織の整備が必要では？

今後検討する。
（田沼：目標なくして前進なし！です）

幕張新都心の活性化は、これからの千葉市として重要。県企業庁の撤退後、幕張を維持・活性化するために担当組織を立ち上げるべきでは？

県企業庁との協議の結果を踏まえて、対応する体制について検討する。
（田沼：せっかくの宝。適切な活用を！）

企業誘致は経済効果が大きい、有望策。トップセールスを積極推進すべきでは？

今後は積極的に行う。
（田沼：本当に頼みます…！）

皆さんいかがですか？ これで改革に熱心な姿勢と感じられるでしょうか？ 改革には決意を込めた目標と、明確なめ切・責任が必須ですが、**市長・執行部の答弁は曖昧なものが多く、非常に残念です。** 厳しい状況にある千葉市の再建のため、今後も大胆な改革を提案します。

●財政再建には、トップのリーダーシップ!

初めて予算審議に臨みましたが、市の全体像がつかめ、大変勉強になりました。個人的所感ですが、市の職員の方は、みなさん本当に熱心に職務遂行を考えています。しかし皆が仕事をちゃんとやろうとするほど、予算要求が大きくなりやすく、積上げるとすぐ膨大になってしまいます。これは構造的宿命です。**これを抑えて、優先順位付けをするのは、市長のリーダーシップしかありません。**

更に近年は、生活保護の増加や子供手当の突如負担など、福祉系予算は増加の一途。全ての議員・職員が頭を悩ませています。景気低下と少子高齢化時代に対応して、**収入・歳出の財政構造を抜本的に改革しなければ、千葉市の未来はない**のです。それを受けて熊谷市長も「脱・財政危機宣言」を発し、財政再建を約束したはずでした。

しかしその第一歩だった今回の予算は、私の目から見ると、**踏み込みは全く不十分**。あろうことか、結局総額も、昨年比で4.6%の増加。**再建への道は程遠く、改革も生ぬるい**(ゆえに市長案予算にも賛成できない)と断じざるを得ませんでした。

トップによって、自治体は大きく変わります。杉並区の山田区長は、10年間で、区のサービス満足度を向上させつつ、借金を1/4、貯金を12倍とし、財政再建を成功させました。**成功要因は、不断のリーダーシップ**。トップが「予算を減らす」と決断し、**批判を恐れず断固やり抜く**ことで、成功させました。やればできるのです。

これらの先行事例を参考に、千葉の再建を果たせるよう、私も強く迫って参ります。

●もう1つの感想・・・議会が変わった!

今回は非常に議論の白熱した、**濃密な議会**でした。その様子はぜひ、HPの動画をご覧ください。熱いです!
(市役所HP⇒千葉市議会⇒議会議中継⇒平成22年第1回定例会)

- ある同僚議員「10年以上議員をやっているが、ここまで濃密な議会は初めてだ」
- 熊谷市長「これまでにない活発な議論を行ったことは大きな前進」

それぞれ考えは違っても、どの議員も、己の信じる千葉市の未来のために真剣に議論していました。この場にわずか当選5ヵ月で、居させてもらえることに心から感謝です。そして**市議会も真剣である**ことを、市民の皆さんにもぜひ知って頂き、共に未来を考えていきたいです。

予算案を巡る議会と市長の攻防

2月中旬	・ 予算案(市長案)提出
3月3日~8日 予算委員会	・ 予算委員会にて、白熱した質疑
3月中旬	・ 各会派内で、市長案への賛否を検討 ・ 反対会派のいくつかは修正動議を提出
3月18日 予算委員会 (24時まで議論白熱)	・ 委員会採決にて、市議会史上初の 「否決」 反対(自、公、新政、共、田沼) 賛成(民、ネット、鈴木)
3月18日深夜 (委員会終了後)	・ 市長側と各会派で歩み寄り
3月19日 本会議	・ 野党3会派(自公新政)により修正案が提出され、 「一転して可決」

●新党の行方に注目中

私は会社退職以来の**約4年間、一貫して無所属を貫いて**きました。自民党は体質、民主党は政策に不安があり、どちらもいまの日本が直面する危機には対処できないとの思いからです。市議会でも「**千葉維新会**」という一人会派を作り、是々非々を貫いています。

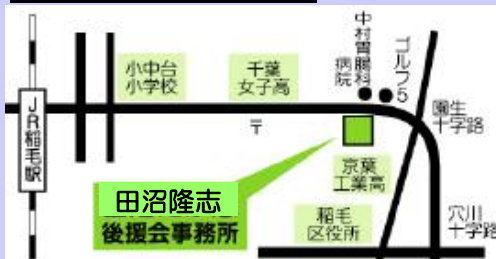
そして参院選を前に、既存政党の不足をカバーする主張を掲げた、複数の新党がいよいよ誕生しました。市政と国政は密接です。私は**強い関心と期待を持ってこれら新党の行方に注目**しています。

いま日本は混迷を深めています。傍観者でいることは、それを認めることになってしまいます。理念、そして実行力で、共鳴できる党があれば、私は**積極的に応援したい**と考えています(何らかの決断の際は、ブログでご報告します)。

第1回 市政懇談会 開催!

7月4日(日)13時~14時

田沼事務所にて (『園生団地入口』バス停の向い)



どなたでもお気軽にご参加下さい♪

千葉市議会議員・田沼隆志

- ・ 昭和50年(1975)生 34歳 園生町在住
- ・ 園生町生まれ。園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学経済学部 卒
- ・ 平成21年千葉市議補選にて、最高位当選



市政へのご意見をお寄せ下さい!

- TEL 253-9610 (留守電でも必ずお返事します)
- Mail tanuma@tanuma.info (本人直通!)
- ブログ <http://ameblo.jp/tanuma/> (更新多数!)
- 事務所 小仲台4-14-8 (土日午後は開けています!)